

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援放課後等デイサービス マカロン		
○保護者評価実施期間	8年 3月 1日		8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	8年 3月 1日		8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまに寄り添った支援を行っている。	お子さまの状況、状態にあわせて活動に参加してもらっている。 日々の打ち合わせや振り返りで、支援内容と療育結果を話し合い、次回の療育に活かしている。	個別課題の時間にお子さまとの面談でその日の状況を把握する。 療育の質を向上するべく、特性にあわせた支援を職員で共有し提供する。 自ら、ご家庭や併用デイ、関係機関から積極的に情報を収集し、お子さまとご家庭のニーズにあった支援を提供していく。
2	保護者様や関係機関からの情報提供やご相談をしっかりと聞きとり、対応している。	関係機関からもお子さまや保護者様の情報をいただいている。 緊急で重要なことは、即時電話にてお伝えし情報共有に努めている。	保護者様の要望に応じて適時面談や支援会議に参加する。 保護者様の求めに応じた対応を、できる限り迅速に関係機関と協力して行っていく。
3	様々な活動を提供している。	レクリエーション、制作活動、お誕生会、運動活動等の設定活動と、自由遊びも大切にしてお子さまの協調性と自主性を尊重している。	外出イベントや新たなイベントも取り入れ、お子さまに様々な経験をしてもらえるよう工夫して支援の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できる機会が少ない。	保護者様のご利用目的や交流に対する思いが様々であり、保護者様同士の交流できる機会が必要かどうかを精査する必要がある。	個人情報に十分配慮しながら、保護者様同士の連携ができる場の設定について、保護者様の求めに応じて前向きに検討いたします。
2	地域の子どもたちと交流する機会が少ない。	公園外出時に、地域のお子さまと現地にて交流することはある。 事業所と地域のお子さまそれぞれの活動時間の都合上、交流する機会は少ない。	個人情報に十分配慮しながら、公園や外出先で交流する機会の他に、保護者様と関係機関に確認を取り、必要に応じて市内事業所や幼稚園、保育園との交流も検討いたします。
3	会議や打ち合わせの機会が少ない	日々の業務に追われ、会議等の時間を設けることが難しい。	人員の補充と定例会議の時間を作り、職員間の意識や支援の更なる理解を深める。